

2019年3月28日

(報道資料)

スカパーJSAT 株式会社
株式会社パスコ

宇宙事業における業務提携 ～衛星地上局の共同利用と衛星データ利活用分野の新事業創出を目指す～

スカパーJSAT 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：高田 真治、以下スカパーJSAT）と株式会社パスコ（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：島村 秀樹、以下パスコ）は、宇宙利活用分野において、両社が保有する技術およびリソースの有効利用を相互に行うことで、現在両社が実施している低軌道周回衛星に関するサービスの効率化・市場拡大を図ると共に、付加価値の高いサービスの創出を目指すため、2019年3月27日（水）に業務提携に合意しました。

業務提携により、強化するサービス分野は以下の通りです。

① 衛星地上局サービス分野

両社が保有する運用技術・ノウハウ・リソースを活用し、自らの地球観測事業を拡大するとともに、国内外の低軌道周回衛星を利用した地球観測あるいは通信事業者向けに、衛星地上局を用いたデータ送受信サービスを提供することで事業を拡大します。

② 衛星データ利活用分野

両社の地球観測衛星データおよびサービスを相互に有効活用し、新たな衛星データ利活用サービスの開発に着手します。

③ 衛星通信・衛星測位・地球観測等の幅広い分野の市場拡大

衛星通信・衛星測位・地球観測サービス分野等の幅広い分野の市場拡大を目指し、両社のサービスや販売チャンネルなどのリソースを相互に有効利用する事業モデルの開発に着手します。

■社会的背景

日本政府が2017年5月29日に「宇宙産業ビジョン2030」を発表。現在、宇宙産業は我が国の第4次産業革命を牽引する成長産業の一つと位置付けられています。人工衛星の製造や打ち上げに伴うコストの大幅な低減によって、宇宙利用ユーザーの裾野が拡大するとともに、利活用サービスの事業領域においても民間事業者の参入が進んでおり、ベンチャーを含む民間企業での人工衛星の打ち上げ、ロケットサービスの展開も既に進んでいます。

今後、ますます拡大する新たな宇宙利用（NewSpace）への対応のため、両社の優位性を相互に活用しながら、新事業領域への取り組みを強化するため業務提携に至りました。

■企業概要

【スカパーJSAT 株式会社】

代表者 : 代表取締役 執行役員社長 高田 真治

設立 : 1994 年 11 月

本社所在地 : 東京都港区赤坂 1-8-1

事業内容 : 放送と通信融合のトップランナーとして、アジア最大の 17 機の衛星を保有する、衛星多チャンネル放送と衛星通信を提供している国内唯一の事業会社です。加入者数約 300 万を誇る衛星多チャンネル放送プラットフォーム「スカパー！」を通じて多種多様なエンタテインメントをお届けし、衛星通信サービスにおいては、日本・アジア・オセアニア・ロシア・中東・ハワイ・北米をカバーし、「社会の安心・安全」を支えています。

公式サイト : <https://www.sptvjsat.com/>

宇宙事業サイト : <https://www.jsat.net/jp/index.html>

スカパーJSAT グループミッション : <https://www.skyperfectjsat.co.jp/about/principle.html>

【株式会社パスコ】

代表者 : 代表取締役社長 島村 秀樹

創業 : 1953 年 10 月 (設立 : 1949 年 7 月)

本社所在地 : 東京都目黒区東山 1-1-2

事業内容 : 人工衛星・航空機・ドローン・専用車両・船舶などの多彩なプラットフォームに最先端の光・レーザー・マイクロ波・熱・音波などのセンサーを搭載して地理空間情報を収集しています。そして、解析・評価・分析する技術によって、過去から現在、そして未来を予測して、国土や環境の管理や保全、インフラの維持管理、災害その他のリスク管理や対策など、社会の課題解決のために空間情報サービスを提供しています。

公式サイト : <https://www.pasco.co.jp/>

宇宙事業サイト : <https://www.pasco.co.jp/satellite/>

以上